

《重点目標：自ら働きかける子どもの育成》

光りあふれる下妻小学校



むぎの子

筑後市立下妻小学校便り

令和5年7月12日号

文責 校長 亀崎美穂子

同和問題啓発強調月間



7月は、同和問題啓発強調月間です。県民ひとりひとりが、同和問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識を高めていくことを目的に定められています。筑後市でも、例年、啓発活動として講演会等が開催されています。この機会に、日本固有の人権問題である「同和問題」について考えてみませんか？

下妻小学校でも、学年に応じ、年間を通して人権学習を行っています。先日の学習参観では、そ

の一端をご覧いただきました。自分を大切にすること、そして、自分と同じように周りにいる友達を大切にすること。私もこの機会に、今一度、自分自身に問いかけてみたいと思います。



【学習後の子ども達の感想・振り返り】

みんながかなしいときに、こえかけをしたいです。

1年 中しま さゆみ

みんなのいいところを見たら、ぼくもこれやってる、と思って、自分のいいところを見つけられました。

2年 小田 ゆうと

友達に「さん」をつけて呼びたいです。そしてみんなを大切にしていきたいです。

3年 古賀 ゆら

このおばあちゃんみたいに、自分の目標をもって、さい後までやりたいです。

4年 井口 こうすけ

嫌なことはたくさんあるけど、一番嫌なことは人それぞれ違うとわかりました。とても傷つくと思うので気をつけたいです。

5年 石丸 とわ

～私の人権宣言～

みんなで勉強ができるように、みんなで幸せになれるように、人を差別しない。

6年 森 あおい

※保護者の方からも、たくさんの感想をお寄せいただきました。ありがとうございました。